



## 2023年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年2月14日

上場会社名 株式会社三洋堂ホールディングス

上場取引所 東

コード番号 3058 URL <https://ir.sanyodo.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役最高経営責任者兼最高執行役員 (氏名) 加藤 和裕

問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員経営企画室長

(氏名) 伊藤 勇 TEL 052-871-3434

四半期報告書提出予定日 2023年2月14日

配当支払開始予定日 -

四半期決算補足説明資料作成の有無：有

四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2023年3月期第3四半期の連結業績（2022年4月1日～2022年12月31日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第3四半期	13,271	△6.4	△206	—	△180	—	△185	—
2022年3月期第3四半期	14,180	△9.5	△2	—	26	△94.9	2	△99.3

(注) 包括利益 2023年3月期第3四半期 △173百万円 (-%) 2022年3月期第3四半期 5百万円 (△98.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第3四半期	△25.48	—
2022年3月期第3四半期	0.39	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第3四半期	13,158	2,906	22.1
2022年3月期	13,450	3,079	22.9

(参考) 自己資本 2023年3月期第3四半期 2,906百万円 2022年3月期 3,078百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2023年3月期	—	0.00	—	—	—
2023年3月期（予想）	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2023年3月期の連結業績予想（2022年4月1日～2023年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	17,600	△6.7	△240	—	△210	—	△540	—	△74.14

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無  
新規 ー社（社名）ー、除外 ー社（社名）ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年3月期3Q	7,400,000株	2022年3月期	7,400,000株
② 期末自己株式数	2023年3月期3Q	116,606株	2022年3月期	116,606株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年3月期3Q	7,283,394株	2022年3月期3Q	7,283,394株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社グループが現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の条件に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項につきましては、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（四半期決算補足説明資料の入手方法）

四半期決算補足説明資料はT D n e t で同日開示しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	3
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7
(追加情報) .....	7
(重要な後発事象) .....	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響が続くなか、行動制限の緩和により経済活動が正常化に向かう一方で、ウクライナ情勢の長期化や急激な円安進行を背景とした資源やエネルギー価格の高騰による物価上昇など、依然として先行き不透明な状況が続いております。

当社グループを取り巻く事業環境は、動画や音楽配信、スマートフォン等による時間消費の多様化の影響を受けております。このような経営環境のもと、当社グループは新本と古本を併売するハイブリッド型書店を核として、顧客のニーズの変化にあわせて様々な販売部門やサービス部門を併設し、eコマースと店舗を融合したスマートなサービスを提供する「スマート・ブックバラエティストア」業態の展開を進めております。

当第3四半期連結累計期間においては、ネットで注文した商品をセルフで店頭受け取りできる「スマ受取」をはじめとした、スマートにお買い物ができる「スマ本屋化」を既存店61店舗で実施し、「スマ本屋」は70店舗となりました。また、デュエルスペースを備えた大型トレカショップ「トレカ館」を第1四半期に1店、第2四半期に2店、第3四半期に3店オープンし、トレカ館導入店舗は13店舗となりました。

また、新規事業であるビュッフェ事業の1号店として9月に神戸クック・ワールドビュッフェイオンタウン各務原鶴沼店(岐阜県各務原市)を、2号店として10月に神戸クック・ワールドビュッフェパリオシティ福井店(福井県福井市)をオープンいたしました。

本事業は、破産者株式会社北陸フードシステムズ破産管財人から、店舗内資産の譲渡を受けたことにより実現するものです。ビュッフェ事業は、神戸物産グループの「食の製販一体体制」の強みを生かした、競争力のある業態である「神戸クック・ワールドビュッフェ」のフランチャイズであり、世界のさまざまな料理を「選んで、食べて、くつろげる！」場所として、地域のお客様に「安心・安全・健康」なハイクオリティの料理を提供できるものと考えております。

さらに、新規事業として中古ホビー事業を、競争力のある業態「駿河屋」のフランチャイズとして導入し、12月に駿河屋江南店をオープンいたしました。「駿河屋」の店内は、ゲーム、フィギュア、プラモデル、アニメ雑貨、ファンシーなど幅広い商品が展開されることから、より幅広いお客様に楽しんでいただけるものと考えております。

一方で、1店舗を閉店したことから、当第3四半期連結会計期間末時点で店舗数は77店舗3校となりました。

オペレーション面では、市場の変化に対応するため営業時間の変更を実施し、2店舗で開店時間を早めると共に、36店舗で営業時間の短縮を実施いたしました。

主要な部門の売上高は、書店部門82億78百万円、文具・雑貨・食品部門12億96百万円、セルAV部門5億95百万円、TVゲーム部門11億15百万円、古本部門4億79百万円、レンタル部門9億92百万円、新規事業部門2億99百万円、サービス販売部門2億11百万円となりました。

増収部門としては、TVゲーム部門が63.4%増、新規事業部門が43.7%増、サービス販売部門が2.0%増となりました。

減収部門としては、書店部門が11.1%減、文具・雑貨・食品部門が7.2%減、セルAV部門が15.9%減、古本部門が7.4%減、レンタル部門が13.0%減となるなど、大変厳しい状況となりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高132億71百万円(前年同四半期比6.4%減)、営業損失2億6百万円(前年同四半期は営業損失2百万円)、経常損失1億80百万円(前年同四半期は経常利益26百万円)、親会社株主に帰属する四半期純損失1億85百万円(前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期利益2百万円)となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は131億58百万円となり、前連結会計年度末に比べ2億91百万円減少いたしました。これは主に、現金及び預金の減少などにより流動資産が2億78百万円減少したこと、建物及び構築物の減価償却などにより固定資産が13百万円減少したことによるものであります。

負債につきましては102億51百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億18百万円減少いたしました。これは主に、買掛金、及び電子記録債務が減少したことなどにより流動負債が1億33百万円減少したこと、繰延税金負債の増加などにより固定負債が14百万円増加したことによるものであります。

純資産につきましては29億6百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億73百万円減少いたしました。なお、減資により資本金18億86百万円を資本剰余金に振り替えております。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2022年11月14日の「2023年3月期 通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,823,783	2,222,202
売掛金	311,253	449,711
商品	5,478,281	5,640,569
その他	331,833	354,636
流動資産合計	8,945,151	8,667,119
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	812,446	766,798
土地	2,082,910	2,082,910
その他(純額)	265,353	258,566
有形固定資産合計	3,160,709	3,108,275
無形固定資産	117,845	115,157
投資その他の資産	1,226,454	1,267,840
固定資産合計	4,505,010	4,491,272
資産合計	13,450,162	13,158,392
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	3,591,415	3,573,920
電子記録債務	2,628,788	2,539,757
1年内返済予定の長期借入金	481,078	432,828
未払法人税等	8,482	7,883
契約負債	69,676	62,978
賞与引当金	47,935	17,549
ポイント引当金	11,944	15,838
資産除去債務	1,292	—
その他	314,224	370,834
流動負債合計	7,154,837	7,021,589
固定負債		
長期借入金	2,165,308	2,142,562
退職給付に係る負債	308,089	308,596
資産除去債務	620,890	628,068
繰延税金負債	39,104	53,800
その他	82,022	96,953
固定負債合計	3,215,416	3,229,981
負債合計	10,370,253	10,251,571

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,986,000	100,000
資本剰余金	1,139,163	3,025,163
利益剰余金	△59,965	△245,541
自己株式	△100,520	△100,520
株主資本合計	2,964,677	2,779,100
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	86,410	102,597
退職給付に係る調整累計額	27,899	25,123
その他の包括利益累計額合計	114,309	127,720
非支配株主持分	921	—
純資産合計	3,079,908	2,906,821
負債純資産合計	13,450,162	13,158,392

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
売上高	14,180,817	13,271,563
売上原価	9,946,241	9,266,146
売上総利益	4,234,576	4,005,416
販売費及び一般管理費	4,237,071	4,212,120
営業損失(△)	△2,495	△206,703
営業外収益		
受取利息	941	760
受取配当金	4,729	5,658
受取保険金	2,309	1,682
リサイクル収入	9,038	10,788
その他	21,598	19,784
営業外収益合計	38,617	38,675
営業外費用		
支払利息	8,881	11,425
その他	590	1,040
営業外費用合計	9,471	12,465
経常利益又は経常損失(△)	26,650	△180,494
特別利益		
固定資産売却益	783	1,173
投資有価証券売却益	104	156
特別利益合計	887	1,329
特別損失		
固定資産除却損	44	0
差入保証金解約損	18,800	—
特別損失合計	18,844	0
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	8,693	△179,164
法人税、住民税及び事業税	8,346	8,338
法人税等調整額	△1,935	△1,004
法人税等合計	6,410	7,333
四半期純利益又は四半期純損失(△)	2,282	△186,498
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△537	△921
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	2,820	△185,576

(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
四半期純利益又は四半期純損失 (△)	2,282	△186,498
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	5,513	16,186
退職給付に係る調整額	△2,771	△2,775
その他の包括利益合計	2,741	13,410
四半期包括利益	5,024	△173,087
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	5,562	△172,165
非支配株主に係る四半期包括利益	△537	△921



(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2022年6月21日開催の定時株主総会決議に基づき2022年7月25日付で資本金の額の減少を実施し、資本金が1,886,000千円減少し、資本剰余金が1,886,000千円増加しております。この結果、当第3四半期連結会計期間末において、資本金が100,000千円、資本剰余金が3,025,163千円となっております。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症拡大に伴う会計上の見積りについて)

前連結会計年度の有価証券報告書の追加情報に記載した新型コロナウイルス感染症拡大の影響に関する仮定について、重要な変更はありません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。